

サテライトオフィス

サテライトオフィス・スマートロック (スマートフォンでドアの施錠/解錠)



お問い合わせフォーム



サテライトオフィス・スマートロック

スマートフォンアプリで、ドアの施錠/解錠が可能です！（ログは、スプレッドシートに保存）



■ 鍵の配布が不要

物理的な鍵やICカードを配る必要がありません

■ 入退室を自動記録

誰がいつ入退室したかをスプレッドシートに保存

■ 社内ネットワークで完結

解錠の通信はインターネットを経由しません

スマートロックの概要と解錠の仕組み



基本概要

デバイスによる電子施錠

スマホアプリ、ICカード、暗証番号、指紋認証などを用い、物理鍵なしでドアの解錠・施錠を行います。

※本システムは、スマートフォンのアプリで施錠解錠できます。



機能・仕組み

リモート操作と履歴管理

Wi-Fi経由で遠隔地から鍵の状態を確認・操作可能。入退室は自動でログとして記録されます。

※本システムは、セキュリティ確保の為に社内WIFIのみから操作可能としています。



導入メリット

紛失リスクの解消と防犯

物理キーの持ち歩きが不要になり、紛失リスクを軽減。電子ロックによるピッキング対策も有効です。

物理キー不要の利便性に加え、入退室履歴の可視化により企業のセキュリティレベルを大幅に向上させます。

遠隔操作と入退室管理

リモート操作

入退室管理

仕組み・手段

ネットワーク接続



Wi-Fiや専用ハブを経由し、スマホからリアルタイムで状態確認や施錠が可能。

ログ自動記録



「いつ・誰が」鍵を開閉したかをデバイスへ自動的に記録し保存します。

主な活用・効果

柔軟な解錠対応



離れた場所からでも入退出のセキュリティを即座に確保できます。

外部アプリ連携



Google スプレッドシート等にログを保存し、社員の帰宅確認にも役立ちます。

ネット連携により、場所を問わない操作と正確な活動ログ記録が可能です。

物理鍵の制約を無くし、履歴の可視化によって企業の防犯レベルを飛躍的に向上させます。

入退室管理の利便性とセキュリティの両立

物理キーの廃止とデジタル履歴の活用により、運用負荷の軽減と厳格な防犯対策を同時に実現します。

利便性の向上

リモート操作機能

スマホから遠隔で施錠・解錠が可能。物理的な鍵の受け渡しや持ち歩きのストレスを解消します。



物理キーの完全廃止

スマホアプリや生体認証、暗証番号を利用。鍵の紛失リスクや再発行の手間をゼロにします。



セキュリティの強化

入退室履歴の自動記録

「いつ・誰が」操作したかをリアルタイムに記録。社員の帰宅確認や防犯管理に役立ちます。



電子ロックによる防犯

ピッキング対策に加え、スプレッドシートへのログ保存で不正アクセスの抑止力を高めます。



➡ スマートロックの導入は、企業の入退室管理を「鍵の管理」から「情報の管理」へと進化させます。

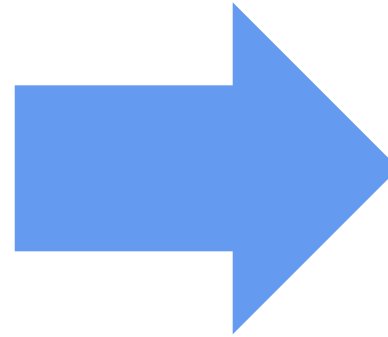
スマートロックの概要と設置方法



Sesame5



Sesame5 Pro



※Sesame5機器を両面テープで貼付けで完了です！



施錠/解錠機器(Sesameロック)は汎用性が高く、
両面テープでドアに簡単に取り付けられます。

鍵の上にSesame5を被せて使います

サテライトオフィス・スマートロック

スマートロックの設定

サテライトオフィス・スマートロック

スマートロック(スマートフォンでドアの施錠/解錠)システムの仕組みは下記になります



サテライトオフィス・スマートロック

3つのコンポーネントとGoogleスプレッドシートで構成されます

スマホアプリ

入退出管理アプリ - サテライトオフィス

登録された入退室カードを選び「入室」「退室」を実行します
(利用ユーザーのスマートフォンにインストール)

M5コントローラー

ドア付近に設置する小型端末

スマートフォンより施錠/解錠のリクエストを受け、Bluetooth
(BLE経由) でSesameを操作します

Windowsサーバーアプリ

SateraitoCheckInServerApp

利用者の認証・ユーザー登録・入退室ログの記録を担当します

Googleスプレッドシート

ユーザーマスター/入退出ログ

従業員名簿と入退室記録の保存先です

※ スマホ・M5・Windowsの通信は社内ネットワーク内で完結します (インターネット経由はスプレッドシートへの記録のみ)

サテライトオフィス・スマートロック

入退出管理システムの解錠までの流れは下記になります

- 1 スマホアプリ(ユーザ)で「入室」または「退室」をタップ
- 2 M5コントローラーがWindowsアプリに利用者の照合をリクエスト
- 3 Windowsアプリがユーザーマスターと照合し、結果を返す
- 4 照合が完了するとM5コントローラーがSesame経由で鍵を解錠
- 5 入退室の記録がGoogleスプレッドシートに保存される



サテライトオフィス・スマートロック

設定を始める前にご準備ください

施錠/解錠機器

Sesame 5 または Sesame 5 Pro（対象のドアに設置済み）

M5コントローラー

アプリ導入済みのものをサテライトオフィスより提供

Windowsパソコン

常時起動しておける社内のパソコン

Googleアカウント

Google Cloudプロジェクトとスプレッドシートの作成用

社内Wi-Fi環境

スマホ・M5・Windowsが同一ネットワークに接続できること

アクセスキー

M5コントローラーの設定時に必要（弊社より発行）

サテライトオフィス・スマートロック

記載の順序どおりに進めてください。前の手順で取得した値を次で使⽤します

Sesameアプリの設定

取得
デバイスシークレットキー／Bluetoothアドレス

M5コントローラーの設定

取得
共有キー／ロックID

Googleプロジェクトの準備

取得
サービスアカウント／P12／シートキー

Windowsサーバーアプリの設定

取得
ユーザー登録用QRコード

スマホアプリの設定

取得
—

サテライトオフィス・スマートロック

STEP 1

Sesameアプリの設定

CANDY HOUSE社の純正アプリで、スマートロック本体を設定します

- Sesameアプリのインストール
- デバイスの登録
- 設定項目の確認
- 施解錠角度の設定
- デバイスシークレットキーの取得
- デバイスシークレットキーの控え
- Bluetoothアドレスの確認

サテライトオフィス・スマートロック

STEP 1 / 5

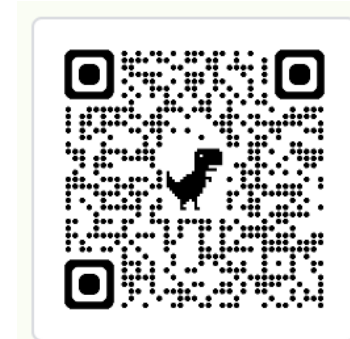
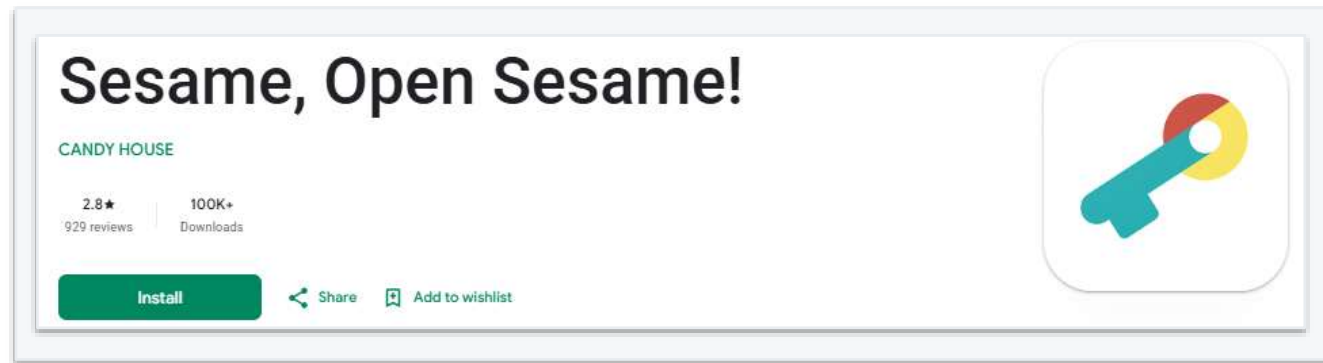


サテライトオフィス・スマートロック

① Sesameアプリのインストール

STEP 1 / 5

App Store / Google Play から「Sesame」を入手します



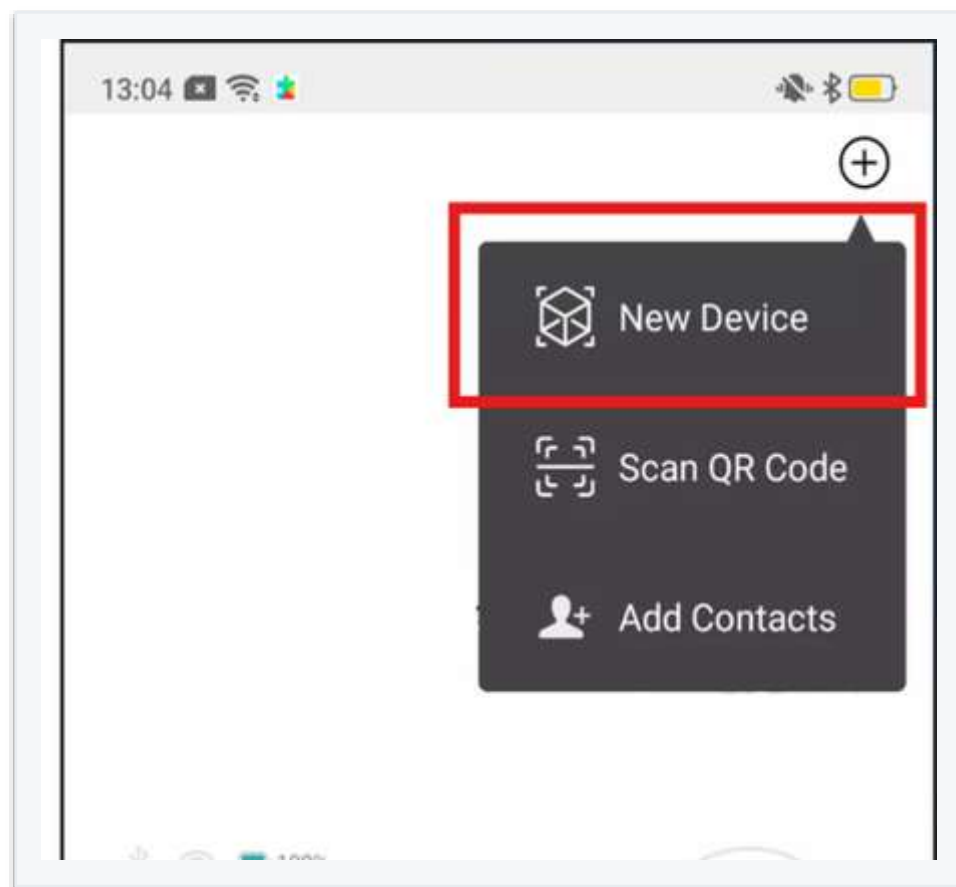
Sesame (CANDY HOUSE社 純正)

本手順 (STEP 1) で使用します
インストール後、アカウントを作成してください (Gmail可)

サテライトオフィス・スマートロック

② デバイスの登録

STEP 1 / 5



Sesameアプリにスマートロックを登録します

登録の手順

- ① アプリ右上の「+」ボタンをタップ
- ② 「New Device」を選択
- ③ お使いのスマートロックを登録

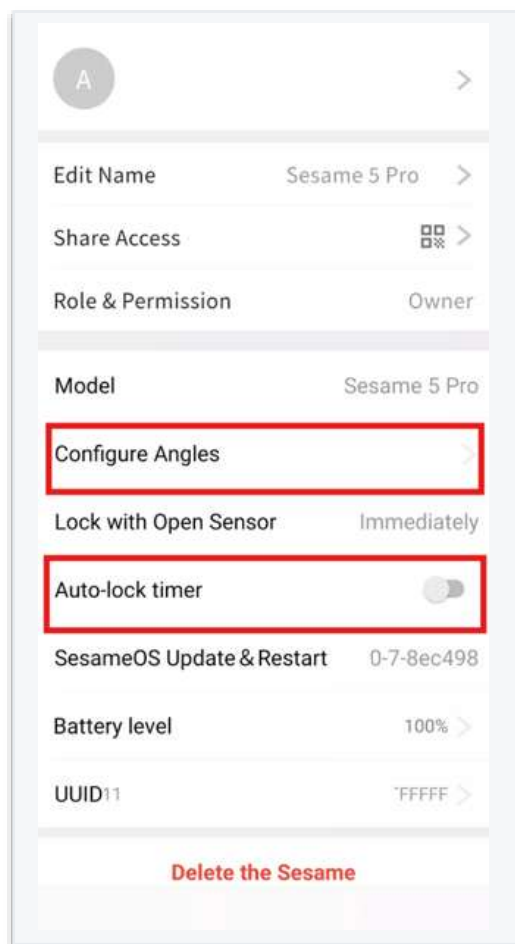
登録が完了すると、Sesame 5 / Sesame 5 Pro が一覧に表示されます

※ 「Share Access」のQRコードからも追加できます

サテライトオフィス・スマートロック

③ 設定項目の確認

STEP 1 / 5



登録したデバイスの設定画面で2項目を設定します

設定する2項目

Configure Angles（角度設定）

施錠位置と解錠位置を設定します

Auto-lock timer（オートロック）

必ず「オフ」に設定してください

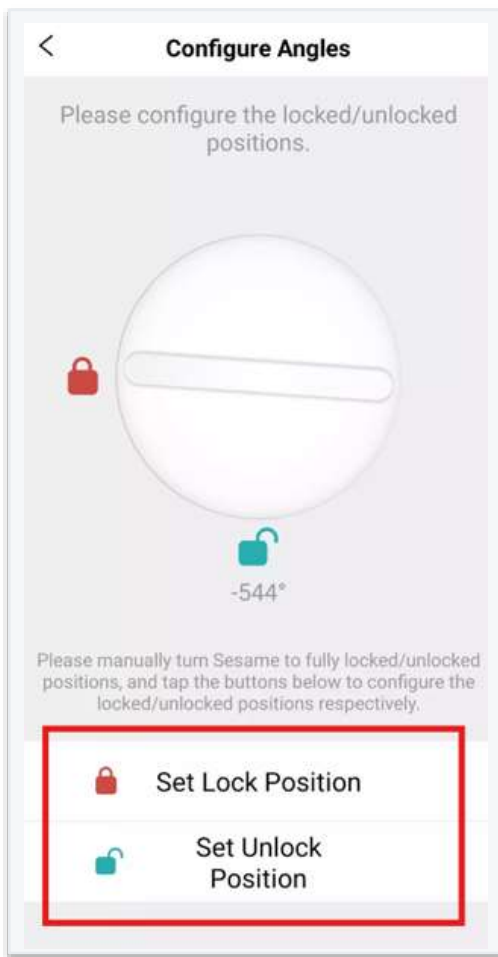
※ 自動施錠までの時間はSTEP 4 のWindowsアプリで設定します

※ 両方が有効だと施錠タイミングが競合します

サテライトオフィス・スマートロック

④ 施解錠角度の設定

STEP 1 / 5



つまみを実際に回して、施錠・解錠の位置を登録します

Configure Angles の操作

- ① つまみを完全な施錠位置まで回す
- ② 「Set Lock Position」をタップ
- ③ 完全な解錠位置まで回す
- ④ 「Set Unlock Position」をタップ

※ 角度は、ドアに取り付けた状態を基準に設定してください

※ 取り付け後に位置がずれた場合は、設定し直してください

サテライトオフィス・スマートロック

⑤ デバイスシークレットキーの取得

STEP 1 / 5

CANDY HOUSE社の開発者向けページから取得します

デバイスの指定方法

個人で登録済のデバイスから追加
QRコードで追加

Sesameアプリに登録済みのデバイス一覧から選択します

Sesameアプリの「Share Access」で表示されるQRコードを読み取ります



<https://biz.candyhouse.co/biz/developer>

サテライトオフィス・スマートロック

⑥ デバイスシークレットキーの控え

STEP 1 / 5

表示されたキーは STEP 2 で使用します

The screenshot shows a web interface for a demo. On the left, under the heading 'デモ' (Demo), there are two steps: '1. デバイスを選択' (1. Select device) and '2. デモを実行する' (2. Execute demo). Under step 1, there are two options: 'QRコードで追加' (Add with QR code) and '個人で登録済のデバイスから追加' (Add from personally registered device). Below these, there is a field for 'デバイスUUID' (Device UUID) with the value '11' and a dropdown menu showing 'FF'. Under step 2, there are three options: 'ステータス取得' (Get status), '履歴取得' (Get history), and 'デバイス操作' (Device operation). On the right side of the interface, there is a red-bordered box containing a field for 'デバイスシークレットキー' (Device secret key) with the value '8bbc'.

取り扱いのご注意

デバイスシークレットキーは、スマートロックを操作するための重要な情報です。

第三者に共有されないよう、取り扱いには十分ご注意ください。

※ この値は STEP 2「M5コントローラーの設定」で入力します

サテライトオフィス・スマートロック

⑦ Bluetoothアドレスの確認

STEP 1 / 5

M5コントローラーの設定には、SesameのBluetoothアドレスも必要です

00:11:22:33:44:55

この形式で表される17文字の値（MACアドレス）です

確認の方法

Bluetoothスキャナーアプリ（「nRF Connect」など、BLEデバイスを検出できるアプリ）でお使いのSesameデバイスを検出し、アドレスを控えておいてください。

※ 詳しい手順は導入マニュアルをご参照ください

サテライトオフィス・スマートロック

STEP 2

M5コントローラーの設定

Wi-Fi情報とSesameの情報を登録し、共有キーを発行します

- M5コントローラーについて
- 設定モードへの切り替え
- 設定ページへの接続
- 設定内容の入力
- 共有キーの選択と控え
- 動作の確認

サテライトオフィス・スマートロック

STEP 2 / 5



サテライトオフィス・スマートロック

① M5コントローラーについて

STEP 2 / 5

アプリ導入済みの状態でサテライトオフィスより提供します



2つのボタン

A : 長押し（約1秒）

再起動します

B : 長押し（約3秒）

リセット（設定の初期化）を行います

ドア付近に設置してご利用ください。Sesameの施錠状態やバッテリー残量も画面に表示されます。

※ すでに利用中の設定を変更する場合も、同様にリセットしてから行います

サテライトオフィス・スマートロック

② 設定モードへの切り替え

STEP 2 / 5

ボタンBを約3秒間長押ししてリセットします



画面の表示

「FACTORY RESET!」と表示されたのち再起動し、
「CONFIG」画面に切り替わります。

AP名	CheckInOut-〇〇〇
設定ページ	192.168.4.1

※ パソコンのIPが固定設定の場合はDHCPに変更してください

サテライトオフィス・スマートロック

③ 設定ページへの接続

STEP 2 / 5

コントローラーはアクセスポイント兼Webサーバーとして動作します



接続の手順

- ① パソコンのWi-Fi一覧を開く
- ② 画面のAP名を選んで接続
- ③ ブラウザで 192.168.4.1 へ

※ 接続できない場合はDHCP（自動取得）に変更してお試しください

サテライトオフィス・スマートロック

④ 設定内容の入力

STEP 2 / 5

Sesame設定

アクセスキー

WiFi SSID

WiFiパスワード

デバイスタイプ

ロックID
英数字とハイフンで1~15文字（最初は英字、最後はハイフン以外、ハイフンは2つ以上続けられません）
建物名、オフィス名、設置場所など、あとで識別しやすい名称をIDとして設定してください。

Bluetoothアドレス

Sesameシークレット
Candyhouse開発者サイトから取得できます。
<https://biz.candyhouse.co/biz/developer>

☒ 共有キー (新規) ☐ 共有キー (既存)

設定を保存

「Sesame設定」フォームに各項目を入力します

入力項目

アクセスキー

弊社より発行する管理用のキー

WiFi SSID

接続する社内Wi-Fiのネットワーク名

WiFiパスワード

上記Wi-Fiのパスワード

デバイスタイプ

Sesame 5 / Sesame 5 Pro を選択

ロックID

設置場所がわかる名称（例：Kaigishitsu-1）

Bluetoothアドレス

STEP 1 で確認した17文字の値

Sesameシークレット

STEP 1 で取得したキー

※ ロックID：半角英数字とハイフンで1~15文字・先頭は英字

サテライトオフィス・スマートロック

⑤ 共有キーの選択と控え

STEP 2 / 5



フォーム下部で共有キーの扱いを選択します

2つの選択肢

共有キー（新規）

新しく生成します。初回の設定時はこちらを選択します

共有キー（既存）

発行済みの共有キーを引き継ぎます。設定変更時に使用します

※ 共有キーが表示されるのはこの画面のみです。必ず控えてください

※ 「新規」を選ぶと配布済みQRが無効になり、利用者の再登録が必要です

サテライトオフィス・スマートロック

⑥ 動作の確認

STEP 2 / 5

再起動後、コントローラーの画面に次の情報が表示されます

ID	設定したロックID
WiFi	接続中のネットワーク名と電波強度
LOCKED / UNLOCKED / UNKNOWN	Sesameの現在の施錠状態
Bluetooth	Sesameとの接続状態（ON / OFF）
Battery	Sesameのバッテリー残量
AutoLock	自動施錠までの残り時間（解錠中に表示）

※ 施錠状態とバッテリー残量が表示されていれば、接続は正常です

サテライトオフィス・スマートロック

STEP 3

Googleプロジェクトの準備

スプレッドシートへアクセスするためのサービスアカウントを作成します

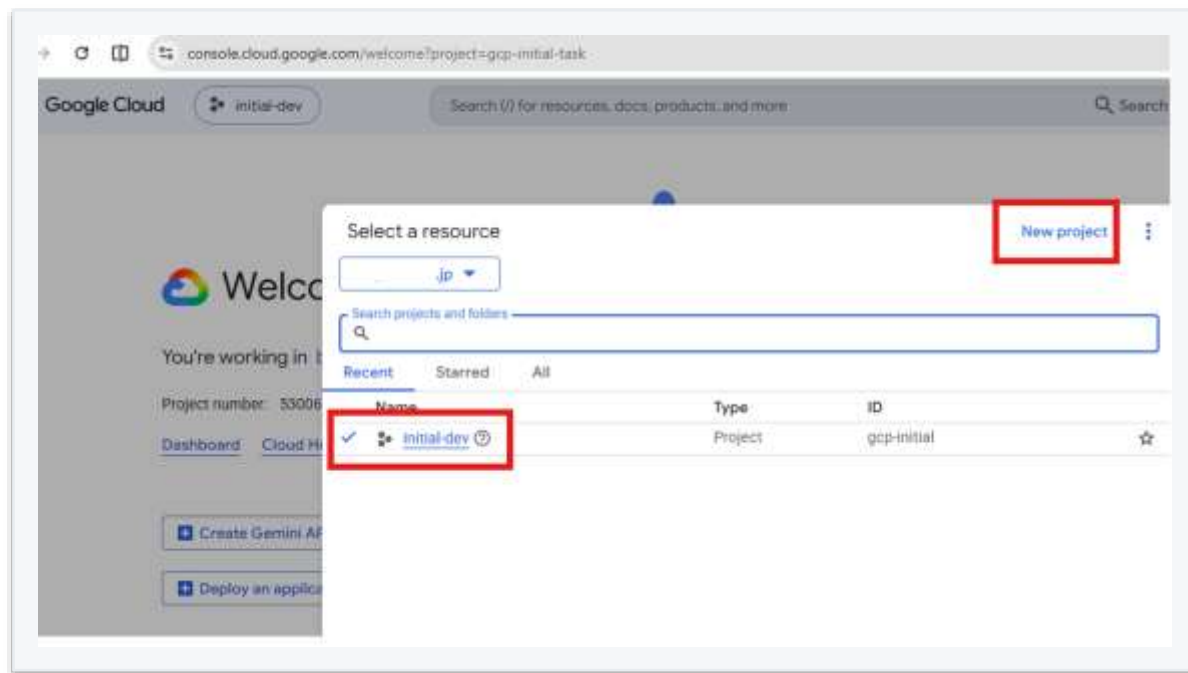
- プロジェクトの作成・選択
- Google Sheets API の有効化
- サービスアカウントの作成
- P12キーファイルの作成
- スプレッドシートの準備
- サービスアカウントへの共有

サテライトオフィス・スマートロック

① プロジェクトの作成・選択

STEP 3 / 5

Google Cloudコンソールでプロジェクトを用意します



手順

Google Cloudコンソールにアクセスし、新しいプロジェクトを作成するか、既存のプロジェクトを選択してください。

サテライトオフィス・スマートロック

② Google Sheets API の有効化

STEP 3 / 5

スプレッドシートへアクセスするために必要です



接続の手順

- ① 「APIとサービス」 → 「有効なAPIとサービス」を開く
- ② 検索ボックスで「google sheets api」を検索し、有効にする

サテライトオフィス・スマートロック

③ サービスアカウントの作成

STEP 3 / 5

「APIとサービス」→「認証情報」から作成します

入力する項目

サービスアカウント名	用途がわかる名前 (例: checkinout-system)
サービスアカウントID	半角英数字で入力
説明	必要に応じて入力 (省略可)

権限 (ロール) の設定は不要です。入力後「完了」をクリックします。

※ 作成時のメールアドレスを控えてください (後で使います)



サテライトオフィス・スマートロック

④ P12キーファイルの作成

STEP 3 / 5

1 サービス アカウントの作成

サービス アカウント名
checkout-system

このサービス アカウントの表示名

サービス アカウント ID
checkout-system

メールアドレス: checkout-system@gcp-1.iam.gserviceaccount.com

サービス アカウントの説明
このサービス アカウントで行うことを説明します

作成して続行

2 権限 (省略可)

このサービス アカウントに initial-dev へのアクセス権を付与して、プロジェクト内のリソースに対する特定のアクションを完了する権限を付与します。
[詳細](#)

ロールを選択

IAM の条件 (省略可)

+ IAM の条件を追加

+ 別のロールを追加

続行

3 アクセス権を持つプリンシパル (省略可)

完了 キャンセル

サービスアカウントの「キー」→「鍵を追加」から作成します

作成の手順

- ① 作成したサービスアカウントの編集画面を開く
- ② 「キー」→「鍵を追加」を選択
- ③ P12形式を選んで秘密鍵を作成

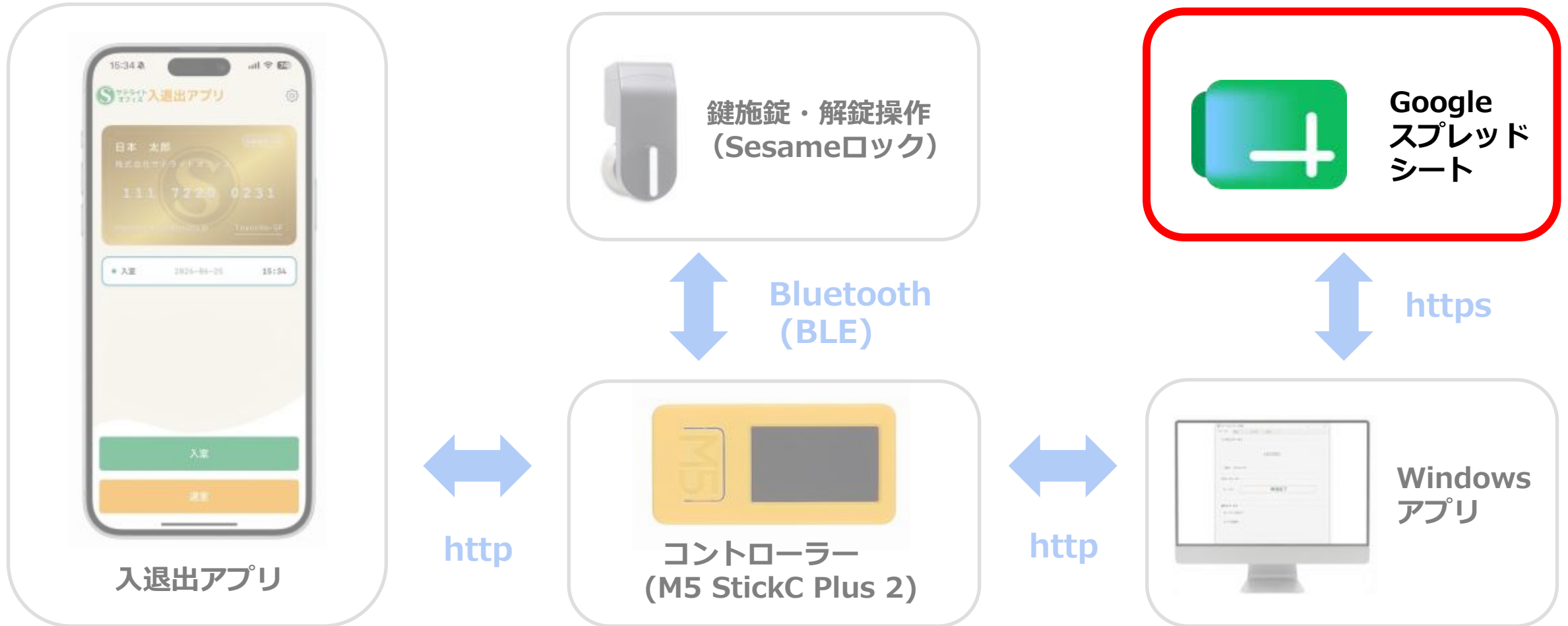
※ p12ファイルは、この一度のみダウンロード可能です

※ 表示される秘密鍵のパスワードも必ずメモしてください

ダウンロードしたファイルは、Windowsサーバーアプリを設置するパソコン上に保管してください。

サテライトオフィス・スマートロック

STEP 3 / 5



STEP 3 / 5

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2	サテライトオフィス入退出アプリ（ユーザーマスター）								
3									
4									
5	ユーザ名	ユーザID	カードID	登録日時	備考				

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	日時	カードID	ユーザID	ユーザ名	ロックID	デバイス	入退出	ロックステータス	動作
2									
3									
4									

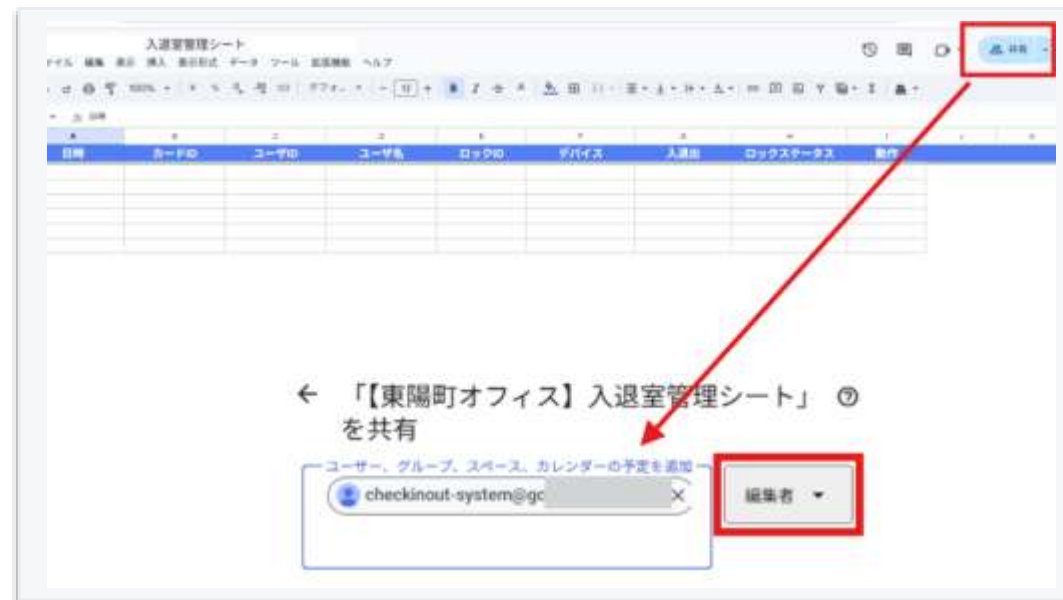
36

サテライトオフィス・スマートロック

② サービスアカウントへの共有

STEP 3 / 5

スプレッドシートの「共有」から編集者権限を付与します



スプレッドシートキーの確認

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/【スプレッドシートキー】/edit>

※ 共有設定を行わないと、アプリからスプレッドシートにアクセスできません

サテライトオフィス・スマートロック

STEP 4

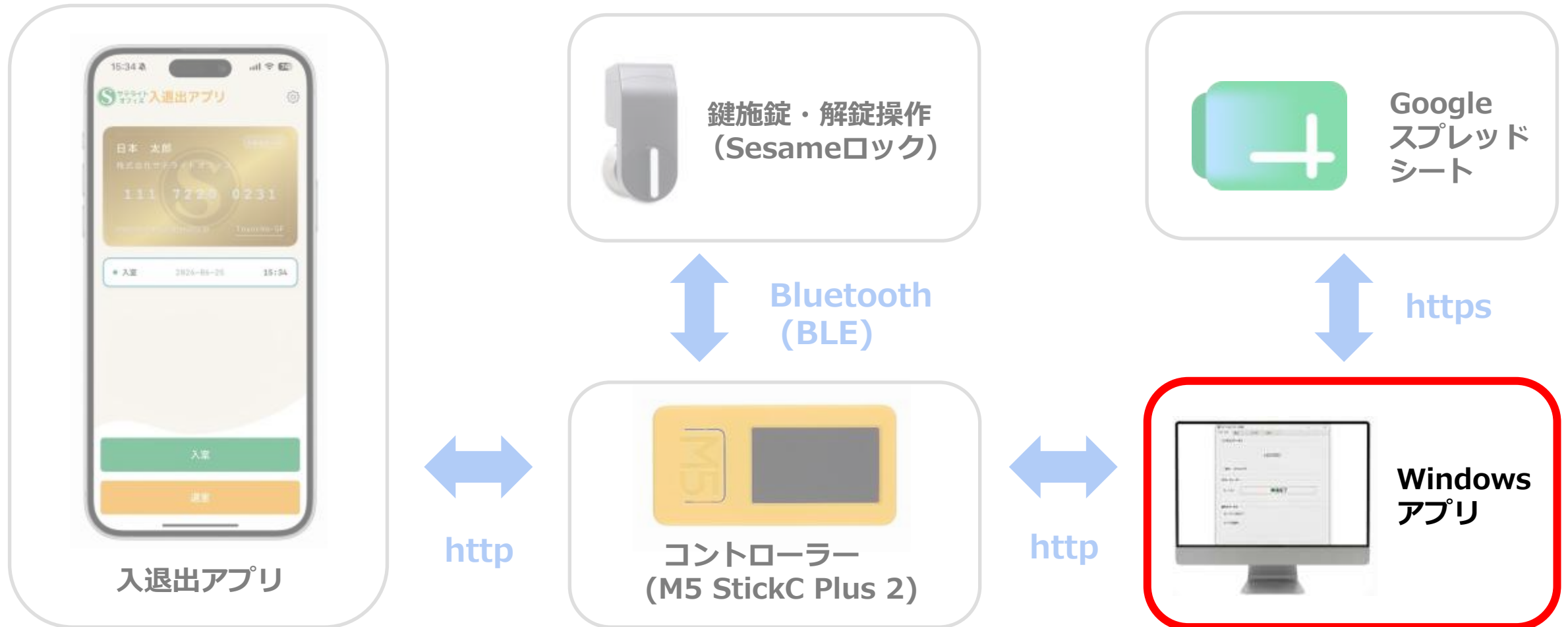
Windowsサーバーアプリの設定

利用者の認証・ユーザー登録・ログ記録を行うアプリを設定します

- アプリの起動とステータス画面
- 設定画面へのアクセス
- 設定内容の入力
- ユーザーの登録
- ログの確認

サテライトオフィス・スマートロック

STEP 4 / 5



サテライトオフィス・スマートロック

① アプリの起動とステータス画面

STEP 4 / 5



システム全体の状態を確認できます

表示される情報

システムステータス

施錠状態と接続中のWi-Fi

ICカードリーダー

直近に解錠した利用者のカードID

動作ステータス

各サービスの準備状況と動作状態

このパソコンは、システムのご利用中は常時起動しておく必要があります。

※ 「全システム準備完了」と表示されていれば正常です

サテライトオフィス・スマートロック

② 設定画面へのアクセス

STEP 4 / 5



Windows Hello による本人確認で保護されています

本人確認

「設定」タブを開く際に、Windows Hello（PIN・指紋・顔認証）による本人確認が行われます。お使いのパソコンのPINなどを入力してください。

※ Windows Helloが未設定の場合、この確認は行われません

※ 設定画面を保護するため、必ずWindows Helloを設定のうえご利用ください

サテライトオフィス・スマートロック

③ 設定内容の入力

Windows Hello による本人確認で保護されています

STEP 4 / 5

Googleスプレッドシート設定

サービスアカウント

P12キーファイル

P12パスワード

スプレッドシートキー

ワークシート名

STEP 3 のメールアドレス

「参照」から選択

キー作成時のパスワード

URLの /d/ と /edit の間

既定値：ユーザー覧

システム設定

WiFi SSID / 会社名

サーバー名 / ポート

自動ロック時間（秒）

ロック設定

社内Wi-Fiと貴社名

自動設定（通常は変更不要）

0 は自動施錠なし

ロックID + 共有キー

※ ロックIDは大文字・小文字まで完全に一致させてください

The screenshot shows the '設定' (Settings) tab of the Sateraito Office setup application. It is divided into two main sections, both highlighted with red boxes. The top section, 'Google スプレッドシート設定' (Google Spreadsheet Settings), includes fields for 'サービスアカウント' (Service Account) with the value 'saterai@serviceaccount.com', 'P12キーファイル' (P12 Key File) with the value 'ServerAppiser', 'P12パスワード' (P12 Password) with masked characters, 'スプレッドシートキー' (Spreadsheet Key) with the value '14T...', and 'ワークシート名' (Worksheet Name) with the value 'ユーザー覧'. A green status message 'Googleスプレッドシート接続済み' (Google Spreadsheet connected) is shown. The bottom section, 'システム設定' (System Settings), includes fields for 'WiFi SSID', '会社名' (Company Name) with the value '株式会社サテライトオフィス', 'サーバー名' (Server Name) with the value '192.1', 'ポート' (Port) with the value '5000', '自動ロック時間 (秒)' (Auto Lock Time (sec)) with the value '15', and 'ロック設定' (Lock Settings) with a dropdown set to 'T'. A green status message 'システム設定: 準備完了' (System Settings: Ready) is shown. Both sections have a '保存' (Save) button at the bottom right.

サテライトオフィス・スマートロック

④ ユーザーの登録

STEP 4 / 5

利用者ごとにQRコードを発行します

登録の手順

- ① 「作成」 ボタンでカードIDを発行
- ② 「ロックID」 でアクセスするロックを選択
- ③ 「ユーザーID」 に社内Googleアカウントを入力
- ④ 「ユーザ名」 にフルネーム [姓] [名] を入力
- ⑤ 「ユーザー登録」 をクリックしてQRを発行

※ 登録内容はスプレッドシートのユーザーマスターにも反映されます

※ 複数のドアを使う場合は、ロックごとに登録してください

サテライトオフィス・スマートロック

⑤ ログの確認

STEP 4 / 5



システムの動作状況と操作履歴をリアルタイムで確認できます

確認できる内容

解錠の成否、カードID、ロックIDなどが記録されます。

動作確認やトラブル発生時の状況把握にご利用いただけます。

※ 入退室の記録そのものは、スプレッドシートの月次ログシートに保存されます

サテライトオフィス・スマートロック

STEP 5

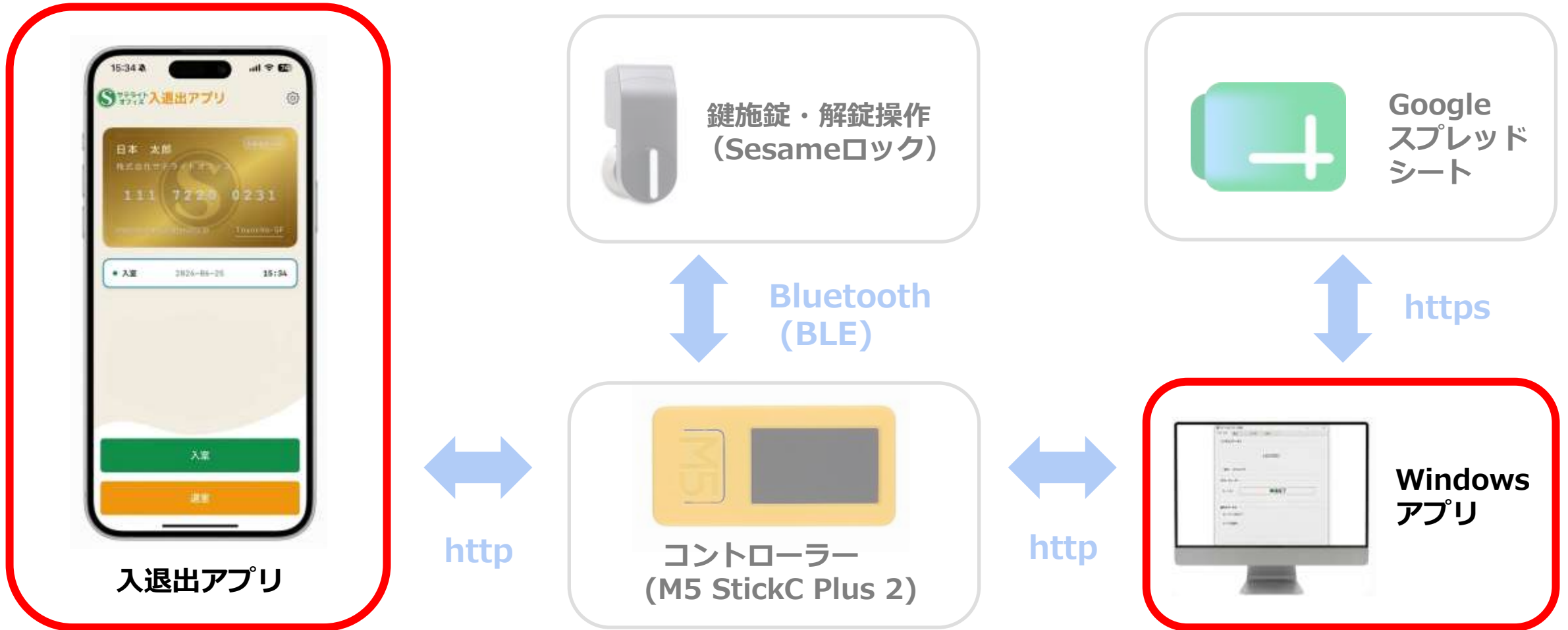
スマホアプリの設定

各利用者様(例:社員様)ご自身に行っていただく作業です

- スマホアプリのインストール
- 入退室カードの登録
- カードデザインの選択と登録完了
- 入退室の操作

サテライトオフィス・スマートロック

STEP 5 / 5

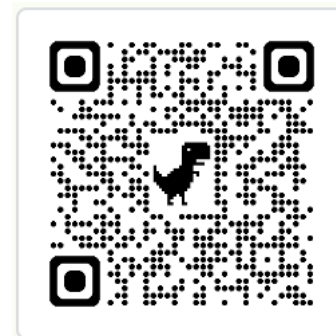


サテライトオフィス・スマートロック

① スマホアプリのインストール

STEP 5 / 5

「入退出管理アプリ - サテライトオフィス」を入手します



ご利用前の準備

スマートフォンを、M5コントローラーおよびWindowsサーバーアプリと同じ社内Wi-Fiネットワークに接続してください。

※ Wi-Fiに接続されていない状態では操作できません

※ iOSでは初回起動時に「ローカルネットワーク」の許可を求められます

サテライトオフィス・スマートロック

② 入退室カード(スマホアプリ内のカード) の登録

STEP 5 / 5



Windowsアプリで発行したQRコードを読み取ります

登録の手順

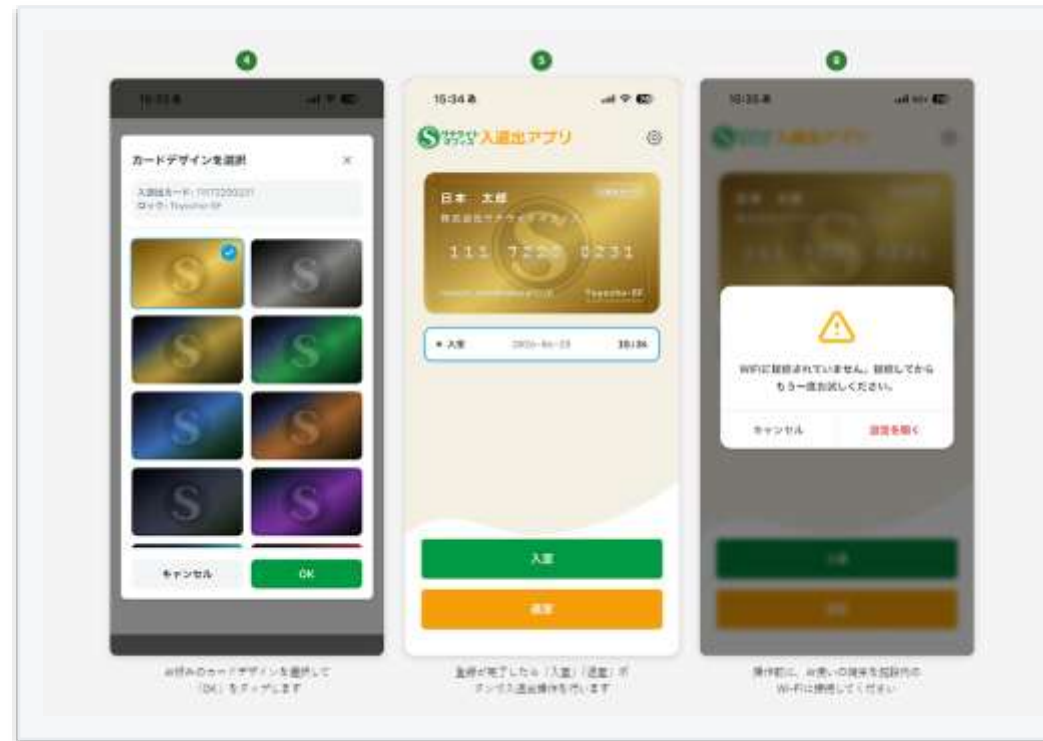
- ① アプリを開き、画面右上の設定アイコンをタップ
- ② 「入退出カード」の「+」をタップ
- ③ カメラでQRコードを読み取り

サテライトオフィス・スマートロック

③ カードデザインの選択と登録完了

STEP 5 / 5

お好みのデザインを選ぶとカードが登録されます



※ Wi-Fi未接続で操作した場合は、確認メッセージが表示されます

サテライトオフィス・スマートロック

④ 入退室の操作

STEP 5 / 5

登録完了後、「入室」「退室」ボタンから解錠できます

入室

オフィスへ入る際に使用します。ドアが解錠され、入室として記録されます

退室

オフィスから出る際に使用します。ドアが解錠され、退室として記録されます

ご利用時のポイント

操作の履歴は、カードの下に日時とともに表示されます。

解錠後は、Windowsサーバーアプリで設定した時間が経過すると自動的に施錠されます。

複数のカードをお持ちの場合は、左右にスワイプして切り替えてから操作します。

サテライトオフィス・スマートロック

設定完了

5つのステップで導入は完了です。運用開始後のご不明点は、導入マニュアルまたは
サテライトオフィス@サポート窓口までお問い合わせください。

サテライトオフィス・スマートロック

よくあるご質問

運用時によくいただくお問い合わせ

Q. Wi-Fiのパスワードが変更されました。どう対応すればよいですか。

A. M5コントローラーをリセットし、共有キーの選択で「既存」を選んで現在の共有キーを入力してください。新規で生成すると再登録が必要です。

Q. 管理用パソコンのIPアドレスが変わりました。設定は必要ですか。

A. 不要です。新しい接続先が自動的にM5コントローラーへ通知されます。

Q. スマホアプリで操作しても解錠されません。

A. 同じ社内Wi-Fiへの接続、iOSのローカルネットワーク許可、正しいカードの選択、M5画面のBluetoothがON、Windowsアプリの起動をご確認ください。

サテライトオフィス・スマートロック

よくあるご質問

運用時によくいただくお問い合わせ

Q. ドアが自動的に施錠されません。

A. Windowsサーバーアプリの「自動ロック時間（秒）」が0になっていないかご確認ください。Sesame側のオートロックは無効のままでご利用ください。

Q. 利用者がスマートフォンを機種変更しました。

A. 「ユーザー」タブで既存のカードID（11桁）を入力すると登録済み情報が表示され、そのまま同じ内容でQRコードを再発行できます。

Q. 退職された方のアクセスを停止するには。

A. スプレッドシートのユーザーマスターから対象の行を削除してください。反映まで最大30分程度かかります（即時反映はアプリ再起動）。

なぜ、サテライトオフィスなのか？

お問い合わせフォーム



アドオンツールで課題解決

「サテライトオフィス・アドオンツール」とは、これまで Google Workspace、Microsoft 365、LINE WORKS をはじめとするクラウドサービスの導入支援をしてきたお客様から「こんな機能があればもっと便利なのに」という声を多数いただき、開発に至ったサービスです。このアドオンツールはすべて自社開発であり、Google Workspaceなどのクラウドサービスとシームレスに連携します。この技術力が弊社の最大の特徴です。

全アドオンの導入社数は

80,000 社以上

サテライトオフィス アドオンツール

サテライトオフィスのAIソリューション
ChatGPT/Azure OpenAI Service/
Google Gemini & VertexAI 導入支援

サテライト エーアイ
Sateraito.AI

確かな AI

Google Workspace アドオン一覧	サテライトオフィス ポータルサイト	組織カレンダー	組織アドレス帳
ワークフロー	シングルサインオン	セキュリティブラウザ	クライアント証明書
掲示板/閲覧板	ドキュメント管理	業務データベース	Myポータルガジェット
クラウドCRM	行先予定/在常確認/ 位置メモ/共有TODO	勤怠管理/タイムカード	書類交換機能 for クラウド
電子帳簿保存法 ファイルサーバー	Eラーニング	多店舗管理機能	虹虹フォーム/アンケート
大容量ファイル転送	メール誤送信防止/ 標的型攻撃メール対策機能	メールアーカイブ for Active Vault SS	Q&Aチャットボット
安全確認	地図データベース	Google Maps API 導入支援	管理者便利ツール
会議室管理/在席管理/ エリア監視 for クラウド	来客管理/受付管理機能 for クラウド	ビーコン社内居場所 確認機能	ICカード交通費取得機能 for クラウド

サポートもおまかせください

80,000社以上の導入実績がもたらす豊富なノウハウ

80,000社以上（中小企業から大企業まで）の導入支援で培った豊富な情報とノウハウが強みです。新しい機能や技術に関するご質問も、導入済みのお客様との連携を通じて迅速に解決いたします。また、多くのお客様からのご要望が多い機能は、拡張アプリケーションとして順次リリースしてまいります。

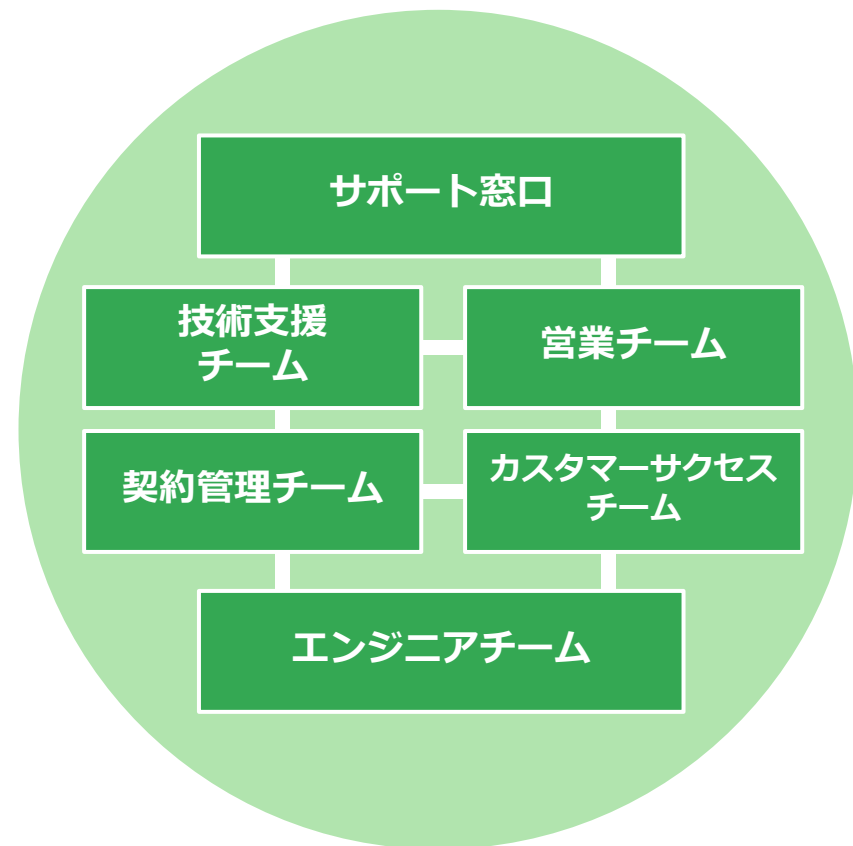
Google App Engine および API 連携による開発力

弊社Google App Engineフレームワークによるシステム開発が可能です。またAPIを利用した社内システムとの連携ソリューションも有効的です！今後もGoogle App EngineやAPI技術は、早い速度で拡張していきます。サテライトオフィスでは、いち早く技術を習得し、ソリューションとして、提供して行きます。

スピーディーなサポート体制

サテライトオフィスの**一番の強みはサポートです**。電話やテレビ会議を利用し、とにかくスピーディーに解決していきます。満足度の高いサポートを提供していきますので、よろしくお願いいたします。

弊社サポートは、部門間の連携が強みです。お客様の質問内容に応じて各担当が直接ご回答しますので、スピーディーな問題解決が可能です。



まずは お問い合わせください！

- ・ 何ができるのかを教えてください
- ・ 製品のデモをしてほしい
- ・ 見積もりがほしい
- ・ どんな支援をしてくれるの？
- ・ こんなことはできるの？
- ・ IT導入補助金について教えて

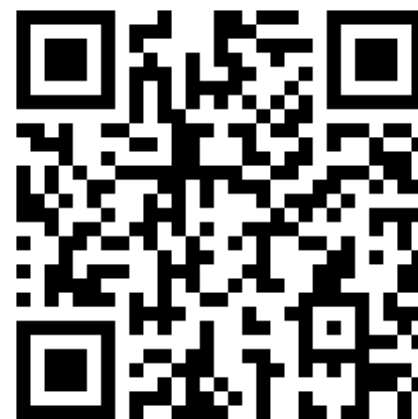
など、何でもけっこうですので、
お気軽にお問い合わせくださいま
せ！



お問い合わせはこちら

<https://www.sateraito.jp/contact/index.html>

お問い合わせフォーム



Sateraito ~ for your best solution



認定ソリューション開発パートナー

株式会社サテライトオフィス
〒135-0016
東京都江東区東陽4-3-1
東陽町信栄ビル4F
TEL : 050-5835-0396 (代表)
FAX : 050-6861-2893
E-Mail : contact-info@sateraito.co.jp